

海軍公報

第二千三百三十五號

昭和九年四月二日(月)

海軍大臣官房

○通牒

官房第一四〇四號

昭和九年四月一日

海軍次官

各鎮守府司令長官殿

海軍航空機搭乗者採用検査ニ關スル件

申進

當分ノ間海軍航空機搭乗者身體検査規則第三條ニ依ル
第二次採用検査ハ練習生採用豫定者トシテ練習航空隊
ニ入隊後同隊ニ於テ實施ノコトニ定メラレ候

官房第一三八四號ノ三

昭和九年四月二日

海軍省副官

各廳長殿

侍從武官被差遣ノ件通牒

今般狀況實視ノ爲侍從武官桑折英三郎ヲ第三艦隊、旅
順要港部、駐滿海軍部へ被差遣候趣侍從武官長ヨリ通
牒有之候

追テ同官ハ來四月上旬東京發六月上旬歸京ノ豫定

海人第二四號

昭和九年四月一日

海軍省人事局長

各所轄長殿

轉科任用者ノ命課及級俸ニ關スル件申進

昭和九年四月一日附航空科若ハ整備科ニ轉科任用セラ
レタル特務士官、准士官及下士官ハ別ニ辭令ヲ用ヒズ
シテ從前ノ級俸ヲ賜給セラレタルモノトシ又同日附他
ノ職ニ補命セラレタル者ノ外ハ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ
從前ノ職ニ補命セラレタルモノト御了知相成度依命

○訓令

海軍公報 第二千三百三十五號 昭和九年四月二日

三〇九

1855

6399

海軍省出仕海軍少佐 平野 孝雄
海軍省軍務房ニ於テ服務スヘシ(謂海軍大臣)

○ 辭 令

○昭和九年四月二日

(各通)

黑瀬 寅雄
片倉 幸夫
西村 大助
藤本 直

任海軍豫備三等航空兵曹

遞信局 宮川 清

海軍省事務囑託ヲ解ク

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金貳拾圓ヲ贈與ス(三十日)
海軍省(海軍省)

遞信局書記 足利 秀夫

海軍省事務ヲ囑託ス(三十日同)

海軍豫備大尉 山口 操
水路部ニ於ケル編修事務囑託ヲ解ク(三十日同)

海軍技術研究所勤務海軍書記 舟木 善郎

海軍技術研究所附ヲ命ス

海軍技術研究所附海軍技手 沼田 三郎

海軍艦政本部附ヲ命ス

海軍技術研究所勤務

海軍技手 逸見 昭房

(各通) 同

同 北原 五郎

海軍技術研究所附ヲ命ス

同 桐山 廉平

海軍技術研究所附ヲ命ス

海軍技手 松見 兵吉

(各通)

筆生 森元 房太郎

部内限判任官待遇トス

同 井上 淺次郎

横須賀海軍建築部所掌建築業務囑託 田崎 彌太郎

自今部内限奏任官待遇トシ報酬年額千百參拾圓ヲ給ス(以上 謂同)

從六位 莊林 伍郎

海軍機關學校ニ於ケル化學教授ヲ囑託ス

但シ報酬月額百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

若林 爲雄

海軍機關學校ニ於ケル化學教授ヲ囑託ス
但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト
ス

横山 文雄

海軍機關學校ニ於ケル數學教授ヲ囑託ス
但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト
ス(以上 謂同)

海軍技手 露木 義雄

第五部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)

○ 雜 款

○潜水艦進水

株式會社川崎造船所ニ於テ建造ノ伊號第六潜水艦去月
三十一日午前七時十分進水セリ

○掃海艇進水

三井物産株式會社造船部玉工場ニ於テ建造ノ第十六號
掃海艇去月三十日午前十一時進水セリ

○旗艦變更

横須賀警備戰隊司令官ハ去月三十一日旗艦ヲ比叡ヨリ

木曾ニ變更セリ

○艦船所在 指△印ハ「ハホ」ヲ要セズ

○四月二日午前十時調

【横須賀】

日進△、山城△、風翔、八雲、北上、伊勢、
駿島、大鯨、春日、▷木曾、比叡
楨、□天霧、朝霧、夕霧、浦風
掃二、掃四

富士△、尻矢、青島、膠州、大和

【長浦】

□島風、夕風、汐風、灘風、□湖、曙、隴
呂二〇、呂二二、呂二二、□呂五五、
呂五四、呂五六、□呂五九、呂五七、
呂五八、□伊二三、伊二四
□掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

【館山】

【大湊】

□神風、野風、沼風、波風

大泊

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、
加古、勝力、大井、白鷹、▷神通
江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、
□芙蓉、刈萱、朝顔、□敷波、浦波、綾波、
□東雲、磯波、吹雪、□臭竹、若竹、早苗
呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三

掃七、掃八、掃一〇、□掃一三△、掃一四△

石廊、攝津、朝日、室戸

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】□伊五三、伊五四、伊五五
(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【佐伯】

□島海、高雄、愛宕、摩耶、▷青葉、衣笠、
古鷹、▷那珂、▷山良、迅鯨

□電、雷、響、□曉、狹霧、漣、□深雪、
初雪、白雪、□白雲、叢雲、薄雲

□伊五七、伊五六、伊五八、□伊六一、
伊六二、伊六四、□伊六七、伊六五、
伊六六

【舞鶴】

鳴戸、神威

吾妻△、多摩

□夕顔、葵、菊

呂二六

【佐世保】

夕張、加賀△、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、
▷龍田、常磐

梨、竹、樞、□柳、桃、檜、樅、□水無月、
皐月、文月、長月、□子日、初春

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、
呂二九、呂三〇、呂三一、□呂六五、

呂六六、呂六七、呂六三、呂六四、
呂六八、呂伊六〇、伊五九、伊六三
千鳥、眞鶴、友鶴
敷島、早瀬、知床、能登呂

(若葉)

【長崎】那智、妙高

【有明灣】金剛、霧島、扶桑、日向、長良、名取、
五十鈴、川内、長鯨、赤城、龍驤

松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、
三月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、
陸月、卯月、如月、彌生、沖風、峯風、
澤風

伊三、伊一、伊二、伊五、伊四

鶴見、間宮

球磨

【馬公】太刀風、秋風、帆風、羽風

【高雄】出雲

【鎮海】葦、菱、栗、柿、楡、梅

【旅順】蓬、蓼、蓮

【青島】天龍

【上海】藤、葛、薄、菽

【南京】堅田、保津、伏見

【漢口】勢多

對馬、鳥羽

【長沙】 陽田

【宜昌】 宇治、熱海、比良

【重慶】 二見

【廣東】 嵯峨

【航海中】

隱戸 (三月二十八日「タラカン」發「徳山」)

淺間、磐手 (三月二十九日亞丁發「ポルトセツ

野島 (三月三十一日横須賀發「佐世保」)

安宅 (一日漢口發「宜昌」)

襟裳 (一日「タラカン」發「徳山」)

佐多 (一日徳山發「佐世保」)

韓崎、呂二七、呂二八、呂六一、呂六〇、
呂六二、伊二一、伊二二、伊五二、伊五一

(二日吳發「神戶」)

矢風 (二日細島發「有明灣」)

掃九 (二日吳發「龜川」)

洲崎 (二日廣發「徳山」)

(部内限二頁、同別紙十三葉)

1859

0294

海軍公報

第二千三百三十六號

海軍大臣官房

昭和九年四月四日(水)

○辭令

海軍主計中尉 横地 憲一
初霜艦裝事務ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官
吏ヲ命ス(謂海軍省經理局支出官)

鹿野 岩次郎
任務終了ニ付編纂事務囑託ヲ解ク(軍令部)

軍令部編纂事務囑託 鯨島 龍男
自今報酬月額八拾五圓ヲ給ス

同 渡部 一衛
自今報酬月額六拾五圓ヲ給ス(以上同)

海軍造船中佐 榊方 檜三郎
在長崎首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍造船少佐 赤崎 繁
同 岡本 方行

海軍造船大尉 松本 喜太郎
第四部勤務ヲ命ス(以上海軍艦政本部)

海軍技手 小寺 博詞
在廣島首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(同)

海軍技術研究所ニ於ケル造兵業務囑託
大木 健次郎

自今報酬月額九拾五圓ヲ給ス(同)
X光線學教授助手囑託 河西 清重

自今報酬月額七拾圓ヲ給ス
海軍衛生試驗法教授助手囑託 茂木 龜彦

自今報酬月額四拾七圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待
遇セラル(以上海軍軍醫學校)

○雜款

○旗艦變更
吳警備戰隊司令官ハ一昨二日旗艦ヲ加古ヨリ阿武隈ニ
變更セリ

○司令驅逐艦變更
第二十二驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ水無月ヨ

海軍公報 第二千三百三十六號 昭和九年四月四日

三一五

1860 ~~0995~~

リ阜月ニ變更セリ

○司令潜水艦變更
第十九潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ伊號第五十七潜水艦ヨリ伊號第五十六潜水艦ニ變更セリ

○軍艦加古行動豫定

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

○軍艦大井行動豫定

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發

吳島 四月十日 着 四月九日 發
江島 四月十日 着 四月九日 發
赤島 四月十日 着 四月九日 發
江島 四月十日 着 四月九日 發
吳島 四月十日 着 四月九日 發

○特務艦大和行動豫定

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

横須賀地 四月十一日 着 四月五日 發

○佛國通報艦タユール來航豫定

長崎地 四月九日 着 四月二十九日 發 記事 修理

長崎地 四月九日 着 四月二十九日 發 記事 修理

長崎地 四月九日 着 四月二十九日 發 記事 修理

長崎地 四月九日 着 四月二十九日 發 記事 修理

長崎地 四月九日 着 四月二十九日 發 記事 修理

長崎地 四月九日 着 四月二十九日 發 記事 修理

長崎地 四月九日 着 四月二十九日 發 記事 修理

○郵便物發送先

軍艦加古宛

四月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

同 二十二日迄ニ 同

其ノ後ハ 吳 別府

軍艦大井宛

四月 五日迄ニ到達見込ノモノハ 赤穂

同 十九日迄ニ 同

同 二十一日迄ニ 同 吳 赤穂

其ノ後ハ

特務艦大和宛

五月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀

六月三日迄ニ 同 横須賀

其ノ後ハ 横須賀

○電話架設

海軍省經理局第三課長海軍主計大佐鈴木 亨宅(杉並區

高圓寺二丁目九二番地ノ一)

中野 二八九五番

海軍艦政本部第五部首席部員海軍機關大佐澁谷隆太郎

宅(目黒區綠ヶ丘二三二〇)

荏原 二六九一番

○正誤

一昨二日訓令欄中「軍務房」ハ「軍務局」ノ誤、同日
辭令欄中海軍豫備大尉山口操ノ辭令ハ衍

海軍公報 第二千三百三十六號 昭和九年四月四日

三一七

1862

0357

○ 艦船所在

指定印ハホホ
ヲ要セズ

○ 四月四日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、鳳翔、八雲、北上、伊勢、

大鯨、春日、比叡、木曾

横、天霧、朝霧、夕霧、浦風

掃二、掃四

富士、尻矢、青島、膠州、大和

【長浦】

殿島

島風、夕風、汐風、灘風、潮、曙、臈

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、

呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、

呂五八、伊二三、伊二四

掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

館山、椿

野風、沼風、波風

大泊

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、加古、

勝力、白鷹、神通、阿武隈

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、

東雲、磯波、吹雪、吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三

掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸

(伊六八)、(最上)

(伊六九)、(伊六)

伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

(掃一六)

吾妻、多摩

夕顔、葵、菊

呂二六

夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、

龍田、常磐

梨、竹、樞、柳、桃、檜、櫻、皐月、

水無月、文月、長月、子日、初春

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、

呂六六、呂六七、呂六三、呂六四、

呂六八、伊六〇、伊五九、伊六三

千鳥、真鶴、友鶴

敷島、早稲、知床、能登呂、佐多、野島

(若葉)

那智、妙高

金剛、霧島、扶桑、日向、長良、名取、

海軍公報 第二千三百三十六號 昭和九年四月四日

三一九

1863 6359

五十鈴、▷川内、▷長鯨、▷赤城、龍驤、
 鳥海、高雄、愛宕、摩耶、▷青葉、衣笠、
 古鷹、▷那珂、▷由良、迅鯨
 ▷松風、春風、旗風、朝風、▷菊月、望月、
 三日月、夕月、▷疾風、追風、朝風、夕風、
 ▷睦月、卯月、如月、彌生、▷沖風、峯風、
 澤風、矢風、▷電、雷、響、▷曉、狹霧、
 漣、▷深雪、初雪、白雪、▷白雲、叢雲、
 薄雲
 ▷伊三、伊一、伊二、▷伊五、伊四、
 ▷伊五六、伊五七、伊五八、▷伊六一、
 伊六二、伊六四、▷伊六七、伊六五、
 伊六六
 鶴見、間宮、鳴戸、神威
 球磨
 ▷太刀風、秋風、帆風、羽風
 ▷蓬、蓼、蓮
 ▷天龍、淀
 ▷藤、蔦、薄、萩
 ▷堅田、保津、伏見
 ▷勢多
 ▷對馬、鳥羽
 ▷隅田
 ▷比良
 ▷宇治、熱海

【重慶】 二見
 【香港】 盤峨
 【航海中】
 隱戸 (三月二十八日「タラカン」發—徳山へ)
 ▷淺間、磐手 (三月二十九日亞丁發—「ポートセツ
 ド」へ)
 ▷安宅 (一日漢口發—宜昌へ)
 襟裳 (一日「タラカン」發—徳山へ)
 韓崎、▷呂二七、呂二八、▷呂六一、呂六〇、
 呂六二、▷伊二一、伊二二、▷伊五二、伊五一
 (二日吳發—神戸へ)
 ▷出雲、▷董、葦、菱、▷栗、柿、楡、梅 (四日高
 雄發—馬公へ)
 大井 (四日吳發—江田内へ)
 駒橋 (四日大湊發—作業地へ)
 ▷神風 (四日大湊發—厚岸へ)
 洲崎 (四日徳山發—横須賀へ)

(部内限二頁、同別表一葉)

1864 8369

海軍公報 第二千三百三十七號

昭和九年四月五日(木) 海軍大臣官房

○令 達

官房第一四一八號

本年勅令第七十二號附則第二項ニ關シ左ノ通定ム

昭和九年四月一日

海軍大臣

従前ノ規定ニ依ル候補生ノ服制ハ現候補生ニ限リ昭和十年三月三十一日迄之ヲ用フルコトヲ得

官房第一四七六號

來四月二十五日ヨリ同二十七日迄靖國神社臨時大祭舉行相成候ニ付同二十七日各艦船部隊學校等ニ於テハ例大祭當日ニ準ジ遙拜式ヲ行フベシ

昭和九年四月五日

海軍大臣

○辭 令

○昭和九年四月一日

任海軍書記

熊本貞次郎

給八級俸

任海軍技手

鈴木由藏

給五級俸

(各通)

陸軍砲兵少尉正八位 土井 茂
海軍一等兵曹勳八等 師橋慶太郎

任海軍技手

給月俸七拾圓

任海軍技手

森久保卓實

給七級俸

三上榮太郎

舞鶴要港部工作部ニ於ケル事變關係造機業務囑託ヲ解ク(海軍省)

馬公要港部附ヲ命ス

海軍書記 熊本貞次郎

横須賀海軍工廠附ヲ命ス

海軍技手 鈴木由藏

海軍燃料廠附ヲ命ス	同 土井 茂
大湊海軍航空隊附ヲ命ス	同 師橋慶太郎
廣海軍工廠附ヲ命ス(以上同)	同 森久保卓實
海軍學生銓衡委員ヲ命ス	海軍大佐 伊藤 整一
海軍武官任用委員ヲ命ス	海軍中佐 小島 秀雄
海軍軍事普及部委員ヲ命ス	靖國神社祭典掛ヲ命ス
海軍軍事普及部委員ヲ命ス	海軍主計大佐 石黒 利吉
海軍學生銓衡委員ヲ命ス	海軍學生徒採用試験常置委員ヲ命ス
恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス	中村 行三
海軍機關學校ニ於ケル物理學教授ヲ囑託ス	但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

海軍一等主計兵曹 成田 勘一

恩給事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル

式功調査事務囑託 湯淺 五郎

自今報酬月額六拾圓ヲ給ス(以上同海軍省人事局)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第一驅逐隊司令ハ昨四日司令驅逐艦ヲ一時神風ヨリ波風ニ變更セリ

○事務所變更

軍艦大鯨艦裝具事務所ヲ横須賀海軍工廠内ニ設置中ノ處去月三十一日撤去シ當分ノ間同所ニ軍艦大鯨陸上事務所ヲ設置セリ

○正誤

昨四日本欄旗艦變更中「加古」ハ「神通」ノ誤

○艦船所在 △印△ハホフ
指定ヲ要セズ

○四月五日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、鳳翔、八雲、北上、伊勢、大鯨、春日、比叡、▶木會、檣、▶天霧、朝霧、夕霧、浦風、掃二、掃四

富士▲、尻矢、青島、膠州、大和

【長浦】

嚴島

▶島風、夕風、汐風、灘風、▶潮、曙、朧、呂二〇、呂二一、呂二二、▶呂五五、呂五四、呂五六、▶呂五九、呂五七、呂五八、▶伊二三、伊二四、▶掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

【館山】

椿

【大湊】

▶波風、野風、沼風

【厚岸】

神風

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、加古、勝力、白鷹、神通、▶阿武隈、江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▶芙蓉、刈萱、朝顔、▶敷波、浦波、綾波、▶東雲、磯波、吹雪、▶吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▶掃一三▲

掃一四▲

石廊、攝津、朝日、室戸

(伊六八)、(最上)

(初雁)、(掃一五)

【大阪】

韓崎

▶呂二七、呂二八、▶呂六一、呂六〇、

呂六二、▶伊二二、伊二二、▶伊五二、

伊五一、▶伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

【玉】

(掃一六)

【赤穂】

大井

【細島】

澤風

【舞鶴】

吾妻▲、多摩

▶夕顔、葵、菊

呂二六

【佐世保】

夕張、加賀▲、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、

▶龍田、常磐

梨、竹、樞、▶柳、桃、檜、櫻、▶臯月、

水無月、文月、長月、▶子日、初春

▶呂二三、▶呂二四、▶呂二五、▶呂三一、

▶呂二九、▶呂三〇、▶呂三一、▶呂六五、

▶呂六六、▶呂六七、▶呂六三、▶呂六四、

1867 0372

<p>【馬公】 球磨 鶴見、間宮、鳴戸、神威</p> <p>【鎮海】 区太刀風、秋風、帆風、羽風</p> <p>【旅順】 区蓬、麥、逆 天龍、淀</p> <p>【青島】 区藤、蒿、薄、萩</p> <p>【上海】 堅田、保津、伏見</p>	<p>【長崎】 那智▲、妙高▲</p> <p>【有明灣】 区金剛、霧島、扶桑、日向、長良、名取、五十鈴、川内、長鯨、赤城、龍驤、島海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、那珂、由良、迅鯨</p> <p>区松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、三日月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、睦月、卯月、如月、彌生、沖風、峯風、矢風、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、初雪、白雪、叢雲、薄雲</p> <p>伊三、伊一、伊二、伊五、伊四、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六</p>	<p>呂六八、伊六〇、伊五九、伊六三</p> <p>区千鳥、真鶴、友鶴</p> <p>敷島▲、早鞆、能登呂、佐多、野島</p> <p>(若葉)</p>
<p>(部内限三頁)</p>	<p>【航海中】</p> <p>隱戸 (三月二十八日「タラカン」發—徳山へ)</p> <p>淺間、磐手 (三月二十九日亞丁發—「ポートセツ」へ)</p> <p>襟裳 (一日「タラカン」發—徳山へ)</p> <p>出雲、區董、葦、菱、栗、柿、楡、梅 (四日高雄發—馬公へ)</p> <p>駒橋 (四日大湊發—作業地へ)</p> <p>洲崎 (四日徳山發—横須賀へ)</p> <p>知床 (四日佐世保發—徳山へ)</p>	<p>【南京】 勢多</p> <p>【九江】 鳥羽</p> <p>【漢口】 對馬</p> <p>【長沙】 隅田</p> <p>【宜昌】 安宅、宇治、熱海、比良</p> <p>【重慶】 二見</p> <p>【漢門】 壁峨</p>

1868 6373

海軍公報

第二千三百三十八號

海軍大臣官房

昭和九年四月六日(金)

○通牒

艦本第三五六五號

昭和九年四月一日

海軍艦政本部

昭和九年四月一日

海軍艦政本部

關係各廳御中

内國監督官監督受持區域ノ件通知

當分ノ内國註文造船造兵工事物件監督検査委託規程
第二條第二項ニ依ル監督官監督受持區域ヲ別表ノ通改
定ス

追テ昭和三年六月十三日艦本第三九四一號ハ之ヲ廢
止ス

(別表一葉添)

艦本第三五六六號

内國造船監督官造兵監督官服務内規中左ノ通改正ス

昭和九年四月二日

海軍艦政本部長
海軍航空本部長

第十八條中「監督受持區域」ノ下ニ「(内區)」ヲ加フ
第二十一條 首席監督官ハ請負者ヲシテ左ノ報告ヲ調
製セシメ之ヲ翌月上旬中海軍艦政本部長又ハ海軍航
空本部長ニ二通提出スルト共ニ別ニ關係工事ニ關ス
ルモノ各一通ヲ其ノ註文元應及納入應(監督官ヲ含
ム)ニ送付スベシ

一、軍艦(驅逐艦等)：製造工事概要報告

偶數月末日調

二、軍艦(驅逐艦等)：造船(造機)(砲類)(水雷)

(航海)(電氣)(航空)關係工事

偶數月末日調

三、一般註文工事現況報告(別紙様式甲但シ日本製

鐵様式會社ハ乙) 每月末日調

様式甲ヲ左ノ通改ム

海軍公報 第二千三百三十八號 昭和九年四月六日

三二五

1869

0374

様式甲

一般註文工事現況報告
 造船(造機)(砲熳)(水雷)(航海)(電氣)(航空)ノ部 昭和 年 月 末 日 調

用途及 品名	數量	代價	註文 番號	註文先	納入先	訓令又ハ 委託番號	訓令又ハ 監督官檢査 依託年月日 指定ノ有無	契約納期	檢査済 數量	工程 百分率	檢査終了 豫定期	備考

(備考)

- 一、本表ハ艦船製造工事概要報告及艦船關係工事現況報告中ニ記載スルモノ以外ニ就キ調製スルコト
- 二、檢査終了シタルモノハ檢査終了豫定期欄ニ「年月日結了」ト記入スルコト
- 三、本表ハ造船、造機、砲熳、水雷、航海、電氣、航空ノ部ニ分テ別冊トシ又各製造所毎ニ別葉トスルコト

○ 辭令

海軍大佐 小山 與四郎

海軍艦政本部ニ於ケル事變關係造兵業務囑託ヲ解ク
 桐原 葆見
 歐米各國諸工場ニ於ケル動作研究應用實施ノ狀況調

1870 6375

查囑託ヲ解ク

東京帝國大學名譽教授男爵 斯波忠三郎
海軍技術研究所ニ於ケル機械ニ關スル事項囑託ヲ解ク

(各通) 東京文理科大學教授 田中 寛一
松本 亦太郎

海軍ニ於ケル實驗心理學應用ニ關スル調査顧問囑託ヲ解ク

東京帝國大學教授 永 井 潜
海軍ニ於ケル生理學調査囑託ヲ解ク(以上^{三三}海軍省)

海軍造船大佐 福川 啓二
第四部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)

海軍少佐 遠 藤 實
兼務廳ニ於テ服務スヘシ

海軍機關中佐 草間 昌夫
自今在神戸首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上^{三三}海軍省)

海軍機關少佐 前田 廣吉
兼務廳ニ於テ服務スヘシ

海軍造兵少佐 徳川 達成

第一部勤務ヲ命ス
主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ(以上^{三三}海軍省)

○ 雜 款

○ 旗艦變更
第十一戰隊司令官ハ昨五日旗艦ヲ一時安宅ヨリ熱海ニ變更セリ

○ 特務艦野島行動豫定

地名	着	發
佐世保	四月十九日	四月十九日
徳山	四月二十日	四月二十日
佐伯	四月二十二日	四月二十二日
吳	四月二十八日	四月二十八日
横須賀	五月四日	五月四日
佐世保	五月十日	五月十七日

○ 特務艦膠州行動豫定

地名	着	發
横須賀	四月十五日	四月九日
石垣島	四月十五日	四月十七日
二見	四月二十三日	四月二十四日
横須賀	四月二十五日	四月二十四日

○郵便物發送先

特務艦野島宛

四月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
 同 二十一日迄ニ 同 徳山
 同 二十七日迄ニ 同 佐伯
 五月一日迄ニ 同 吳
 同 六日迄ニ 同 横須賀
 其ノ後ハ 佐世保

特務艦膠州宛

四月八日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
 同 二十二日迄ニ 同 三重縣二見
 其ノ後ハ 横須賀

○着任、退應

新任 海軍省人事局長 海軍大佐 伊藤 整一 本六日着任

前任 海軍省人事局長 海軍大佐 清水 光美 本六日退應

○正誤

昨五日辭令欄中「式功調査」ハ「武功調査」ノ誤

1872 0377

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○四月六日午前十時調

【横須賀】 日進、山城、鳳翔、八雲、北上、伊勢、

大鯨、春日、比叡、木曾

檣、天霧、朝霧、夕霧、浦風

掃二、掃四

富士、尻矢、青島、膠州

【長浦】 嚴島

呂島風、夕風、沙風、灘風、潮、朧

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、

呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、

呂五八、伊二三、伊二四

掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】 (初霜)

【館山】 椿

【清水】 曙

【大湊】 波風、野風、沼風

【厚岸】 神風

【吳】 長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、加古、

勝力、白鷺、神通、阿武隈

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、

呂東雲、磯波、吹雪、吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃二三

掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸

(伊六八)、(最上)

【大阪】 (初雁)、(掃一五)

【神戸】 韓崎

呂二七、呂二八、呂六一、呂六〇、

呂六二、伊二一、伊二二、伊五二、

伊五一、伊五三、伊五四、伊五五、

(伊六九)、(伊六)

【玉】 (掃一六)

【徳山】 知床

【細島】 澤風

【舞鶴】 吾妻、多摩

呂夕顔、葵、菊

呂二六

【佐世保】 夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、

龍田、常磐

梨、竹、樵、柳、桃、檜、檜、臯月、

水無月、文月、長月、子日、初春

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、

海軍公報 第二千三百三十八號 昭和九年四月六日

三三九

1873 0979

呂六六、(呂六七、呂六三、呂六四、呂六八、) 伊六〇、伊五九、伊六三
千鳥、真鶴、友綱
敷島、早稲、佐多、野島
(若葉)

【長崎】 那智、妙高

【有明灣】 金剛、霧島、扶桑、日向、長良、名取、五十鈴、川内、長鯨、赤城、龍驤、島海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、那珂、由良、迅鯨

松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、三月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、陸月、卯月、如月、彌生、沖風、峯風、矢風、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、初雪、白雪、白雲、叢雲、薄雲

伊三、伊一、伊二、伊五、伊四、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六

【馬公】 球磨、出雲、神威

太刀風、秋風、帆風、羽風、董、葦、菱、栗、柿、楡、母

【鎮海】 蓬、蓮

【旅順】 淀

【青島】 藤、蕙、薄、萩
【上海】 堅田、保津、伏見
【南京】 勢多
【九江】 鳥羽
【漢口】 對馬
【長沙】 岡田
【宜昌】 安宅、宇治、比良
【重慶】 二見
【澳門】 蟻賊
【作業地】 淺間、磐手
【航海中】 駒橋

【航海中】 駒橋
隱戶 (三月二十八日「タラカン」發「徳山」へ)
襟裳 (一日「タラカン」發「徳山」へ)
洲崎 (四日徳山發「横須賀」へ)
熱海 (五日宜昌發「重慶」へ)
天龍 (五日旅順發「大沽沖」へ)
大和 (五日横須賀發「作業地」へ)
大井 (六日赤穂發「江田内ヲ經テ吳」へ)
能登呂 (六日佐世保發「演習地」へ)

(別表一葉、部内限一頁)

1874 6379

監督官 在勤地	受 持 區 域	受 持 區 域 (内區)	所 掌 監 督 工 事 區 分
東京	東京府、神奈川縣(横濱市、橋樹郡、都筑郡及東京螺子製作所)、千葉縣、埼玉縣、茨城縣、栃木縣、群馬縣、山梨縣、長野縣、新潟縣、福島縣、宮城縣、山形縣、岩手縣、秋田縣、青森縣	東京市方面、横濱市方面、川崎市方面、群馬縣太田町地方、川口市地方、千葉縣八幡町地方、茨城縣助川町地方、東京螺子製作所	砲熳、火藥、水雷、電氣、航海、光學、造船、造機、航空
大阪	大阪府、兵庫縣(川邊郡、尼崎市及武庫郡「武庫川以東及川西航空機株式會社」)、京都府、滋賀縣、奈良縣、和歌山縣、福井縣、石川縣、富山縣	大阪市方面、京都市方面、兵庫縣(川邊郡、尼崎市及武庫郡「武庫川以東及川西航空機株式會社」)、岸和田市地方、奈良縣五條町地方、滋賀縣彦根町地方	砲熳、水雷、電氣、造船、造機、航空
神戸	兵庫縣(川邊郡、尼崎市及武庫郡「武庫川以東及川西航空機株式會社」ヲ除ク)、鳥取縣、島根縣(簸川郡及飯石郡以東)、徳島縣、高知縣	神戸市方面(武庫川以東及川西航空機株式會社ヲ除ク)、兵庫縣相生町	砲熳、水雷、電氣、造船、造機、航空
長崎	長崎縣、熊本縣、鹿兒島縣、沖繩縣、臺灣、朝鮮、關東州	長崎市地方、佐世保市地方	砲熳、水雷、電氣、造船、造機
名古屋	愛知縣、岐阜縣、靜岡縣、三重縣	名古屋市方面、濱松市地方、靜岡縣島田町地方、大垣市地方、岐阜縣各務原地方、三重縣桑名町地方	砲熳、水雷、航空
浦賀	神奈川縣(横濱市、橋樹郡、都筑郡及東京螺子製作所ヲ除ク)	神奈川縣浦賀町地方、横須賀市地方	砲熳、水雷、電氣、造船、造機
室蘭	北海道、樺太	室蘭市地方	砲熳、水雷、造船、造機
八幡	福岡縣(宗像郡、鞍手郡及田川郡以東)、大分縣、宮崎縣、山口縣、(阿武郡、美彌郡及厚狹郡以西)	八幡市地方、小倉市地方、門司市地方、戸畑市地方、若松市地方、下關市地方、彦島地方	造船、造機、航空
廣島	廣島縣、山口縣(阿武郡、美彌郡及厚狹郡以西ヲ除ク)、島根縣(簸川郡及飯石郡以東ヲ除ク)、愛媛縣	廣島市地方、吳市地方	砲熳、水雷、電氣、造船、造機、航空
福岡	福岡縣(宗像郡、鞍手郡及田川郡以東ヲ除ク)、佐賀縣	福岡市地方、大牟田市地方、福岡縣幸袋町地方、唐津市地方	砲熳、水雷、航空
玉	岡山縣、香川縣	岡山市地方、岡山縣日比町地方	砲熳、水雷、電氣、造船、造機

備考

- 一、監督検査委託ニ際シテハ受持區域(内區)ト共ニ所掌監督工事區分ニ就キ注意ヲ要ス
- 二、所掌監督工事區分ハ關係監督官在勤シ監督検査ヲ爲シ得ルモノヲ示ス但シ所掌監督工事區分以外ノモノト雖モ造船、造機、造兵材料及検査簡單ナル工事物件ハ検査スルモノトス
- 三、本表中方面トアルハ隣接郡部ヲ含ム地域ヲ意味シ又地方トアルハ隣接町村ヲ含ム地域ヲ意味ス
- 四、受持區域中内區以外ヲ外區トス

(昭和九年四月六日公報別表)

海軍公報

第二千三百三十九號

海軍大臣官房

昭和九年四月七日(土)

○令達

官房第一四一四號

昭和九年度海軍省所管歳入歳出科目別冊ノ通定ム
但シ別冊ハ海軍省經理局長ヲシテ所要ノ向ヘ配付セ
シム

昭和九年四月一日

海軍大臣

○通牒

官房第一五一四號

昭和九年四月七日

海軍省副官

各廳長殿

靖國神社臨時大祭ニ付休暇ノ件通牒

靖國神社臨時大祭ニ付來四月二十七日軍隊、生徒及諸
官員ニ休暇ヲ賜フ旨仰出サレ候條御了知相成度

○辭令

湊海軍病院齒科治療囑託

六百六拾圓

平野 萬里

横須賀海軍病院齒科治療囑託

貳千五百拾圓

松本 隆

海軍燃料廠平壤鑛業部醫療業務囑託

貳千六百九拾圓

佐藤 八四二

海軍燃料廠探炭部醫療業務囑託

貳千四百八拾圓

佐々木 次郎

同

貳千貳百九拾圓

田中勝三郎

同

貳千五百拾圓

濱田 毅一

吳海軍病院齒科治療囑託

貳千貳百八拾圓

橋元 伊八郎

佐世保海軍工廠職工教習所勤務囑託

貳千五百拾圓

栗林 三郎

海軍公報 第二千三百三十九號 昭和九年四月七日

三三一

1876

0301

<p>(通各)</p> <p>佐世保海軍病院齒科治療囑託 貳千貳百九拾圓 中島 恭章</p> <p>海軍航空本部ニ於ケル研究調査囑託 千貳拾圓 笹森 賢藏</p> <p>海軍兵學校劍道教授囑託 千六百五拾圓 三谷 復太郎</p> <p>海軍火藥廠ニ於ケル研究調査囑託 貳千四百貳拾圓 丸江 仁</p> <p>海軍技術研究所ニ於ケル囑託 千百參拾圓 兼子 宙</p> <p>横須賀海軍工廠ニ於ケル囑託 千百參拾圓 溝口 三雄</p> <p>吳海軍工廠ニ於ケル囑託 千百參拾圓 荒川 真五</p> <p>同 千百參拾圓 河合 次男</p> <p>同 千四百七拾圓 岡理 喜雄</p> <p>佐世保海軍工廠ニ於ケル囑託 九百六拾圓 三島 忠雄</p> <p>軍令部ニ於ケル囑託</p>	<p>九百圓 小田切 義作</p> <p>海軍技術研究所ニ於ケル囑託 九百圓 中條 薫</p> <p>自今報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(海軍省) (各通) 海軍少佐 遠藤 實</p> <p>第二課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局) 囑託 久保田 二男</p> <p>自今報酬月額五拾五圓ヲ給ス(海軍省軍需局)</p> <p>○雜款</p> <p>○伊國軍艦カボト來航豫定期 地名 四月十一日 大連 同 二十二日 仁川</p>
---	--

1877 6332

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○四月七日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、鳳翔、八雲、北上、伊勢、大鯨、春日、比叡、木曾、檣、天霧、朝霧、夕霧、浦風、掃二、掃四

【長浦】

殿島、富士、尻矢、青島、膠州、洲埼

呂島風、夕風、沙風、灘風、潮、曙、龍、呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、呂五八、伊二三、伊二四、掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

樺

【大湊】

野風、沼風、大泊

【厚岸】

神風

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、加古、勝力、白鷹、神通、阿武隈

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日、伊六八、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】(掃一六)

呂二七、呂二八、呂六一、呂六〇、呂六三、伊二一、伊二二、伊五二、伊五一、伊五三、伊五四、伊五五、(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【徳山】知床

【細島】澤風

【舞鶴】吾妻、多摩、夕顔、葵、菊

【佐世保】呂二六、夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、常磐

梨、竹、樞、柳、桃、檜、櫻、水無月、長月、日子日、初春

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、呂六六、伊六〇、伊五九、伊六三

區千鳥、真鶴、友鶴

敷島、草輪、佐多、野島

(若葉)

【長崎】 那智、妙高

【有明灣】 金剛、霧島、扶桑、日向、長良、名取、五十鈴、川内、長鯨、赤城、龍驤、

鳥海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、

古鷹、那珂、由良、迅鯨

松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、

三月月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、

陸月、卯月、如月、彌生、沖風、峯風、

矢風、電、雷、響、曉、狹霧、漣、

深雪、初雪、白雪、白雲、叢雲、薄雲、

伊三、伊一、伊二、伊五、伊四、

伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、

伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、

伊六六

鶴見、閩宮、鳴戸、神威

【馬公】 球磨、口出雲

太刀風、秋風、帆風、羽風、葦、葦、

菱、栗、柿、楡、梅

【鎮海】 蓬、蓼、蓮

【旅順】 淀

【大沽】 天龍

【青島】 藤、葛、薄、萩

【上海】 堅田、保津、伏見

【南京】 勢多

【九江】 鳥羽

【漢口】 對馬

【沙市】 宇治

【宜昌】 安宅

【重慶】 二見

【香港】 嵯峨

【上海】 淺間、磐手

【演習地】 能登呂

【作業地】 駒橋

大和

【航海中】

隱戸 (三月二十八日「タラカン」發「徳山」)

襟裳 (一日「タラカン」發「徳山」)

熱海 (五日宜昌發「重慶」)

大井 (六日赤穂發「江田内」經「吳」)

比良 (六日宜昌發「南京」)

吳竹、若竹、早苗 (六日吳發「廣島灣」)

室戸 (六日吳發「佐世保」)

龍田、呂六七、呂六三、呂六四、呂六八 (七日

佐世保發「演習地」)

(號外三頁、部内限一頁)

1879 6334

海軍公報 號外

昭和九年四月七日(主)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第六六七號ノ三

海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和九年四月七日

海 軍 大 臣

二金屬、材料類第一一項、同第一三項及同第四四項中古河電氣工業株式會社ノ行ヲ左ノ通改メ日本伸銅株式會社ノ行ヲ削ル

古河電氣工業株式會社

東京市日本橋區室町二丁目八

日光電氣精銅所

栃木縣上都賀郡日光町字清瀧

大阪伸銅所

大阪市北區天神橋筋四丁目二四

二金屬、材料類第二二項、同第二二項及同第二三項中古河電氣工業株式會社ノ行ヲ左ノ通改メ尼崎伸銅株式會社ノ行ヲ削ル

古河電氣工業株式會社

東京市日本橋區室町二丁目八

日光電氣精銅所

栃木縣上都賀郡日光町字清瀧

尼崎伸銅所

尼崎市東向島東之町四四

海軍公報 號外

1880 0395

一地金、礫石類第一九項、二金屬、材料類第一二項、同第一四項、同第一五項及同第一六項中日本伸銅株式會社ノ行ヲ左ノ通改ム

古河電氣工業株式會社 東京市日本橋區室町二丁目八 大阪伸銅所 大阪市北區天神橋筋四丁目二四

二金屬、材料類第五項中尼崎伸銅株式會社ノ行ヲ左ノ通改ム

古河電氣工業株式會社 東京市日本橋區室町二丁目八 尼崎伸銅所 尼崎市東向島東之町四四

二金屬、材料類第二〇項中尼崎伸銅株式會社ノ行ヲ左ノ通改ム

古河電氣工業株式會社 (徑一二五粒未磨) 東京市日本橋區室町二丁目八 尼崎伸銅所 尼崎市東向島東之町四四

二金屬、材料類第三七項中尼崎伸銅株式會社ノ行ヲ左ノ通改ム

古河電氣工業株式會社 (直徑二〇徑以下) 東京市日本橋區室町二丁目八 尼崎伸銅所 尼崎市東向島東之町四四

四電氣機械、器具、材料類第一八項、一一護謨、エポナイト類第一項、同第二項、同第三項及同第四項中

「角一ゴム合資會社」ヲ「角一ゴム株式會社」ニ改ム

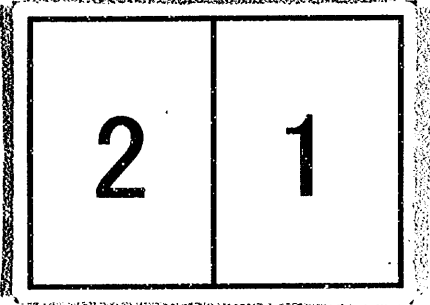
一〇硝子類第三項中今泉信四郎ノ行ヲ左ノ通改ム

1881 0396

合資會社特種硝子製造所	東京市大森區新井宿四丁目一五三	東京市大森區新井宿四丁目一五三
一二油脂、蠟類第七項、同第八項、同第九項、同第一〇項、同第一二項、同第一三項及同第一四項中丸善礦油合名會社ノ行ヲ左ノ通改ム	丸善石油株式會社 神戸市兵庫區北仲町二八	大阪製油所 大阪市大正區福町二丁目二七
一七雜品類第二六項中	東洋工業株式會社 廣島縣安藝郡府中村字新地六〇四七	廣島縣安藝郡府中村字新地六〇四七
ヲ加フ		

1882 0337

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	封書
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

謹啓本月十二日佐世保港外に於ける水雷艇友鶴の遭難は寔に痛恨事に有之艇長岩瀬少佐以下百名の忠勇なる戦友の殉職を見たるは眞に悲痛極りなく哀悼の念轉た禁する能はざる次第に御座候茲に有志相圖り海軍部内各位の御同情に訴へ義捐金を募り之を遺族に贈ると共に一部を以て佐世保海軍墓地に弔魂の碑を建て聊か殉難將兵の英靈を慰め度候條何卒御賛同被下度此段得貴意候

追而友鶴遭難者義捐金募集要領左記の通に有之候

敬具

昭和九年三月十九日

發起者

海軍主計少佐	淺野孝之
海軍中佐	來島茂雄
海軍中佐	橋本信太郎
海軍大佐	加藤正
海軍大佐	松野省三
海軍機關大佐	須田稔
海軍大佐	田畑啓義
海軍司法事務官	諸澤安治
海軍少將	白根貞介
海軍少將	和田專三
海軍少將	片桐英吉
海軍主計少將	佐々木重藏
海軍軍醫少將	伏島忠雄
海軍少將	鈴木義一
海軍造船中將	山本幹之助
海軍中將	米内光政

海軍部内各部御中

友鶴遭難者義捐金募集要領

- 一、本義捐金ハ海軍部内一般ヨリ之ヲ募集ス
- 二、義捐金ノ處理ニ關シテハ本文趣旨ニ據ルノ外其ノ細目ハ發起者ニ御一任被下度
- 三、義捐金ハ各所轄毎ニ取纏メ佐世保海軍經理部淺野主計少佐宛送付セラ

1883
1884

0393

殉職を見たるは眞に悲痛極りなく哀悼の念轉た禁ずる能はざる次第に御座候茲に有志相圖り海軍部内各位の御同情に訴へ義捐金を募り之を遺族に贈ると共に一部を以て佐世保海軍墓地に弔魂の碑を建て聊か殉難將兵の英靈を慰め度候條何卒御賛同被下度此段得貴意候

追而友鶴遭難者義捐金募集要領左記の通に有之候

敬具

昭和九年三月十九日

發起者

- 海軍主計少佐 淺野孝之
- 海軍中佐 來島茂雄
- 海軍中佐 橋本信太郎
- 海軍大佐 加藤正
- 海軍大佐 松野省三
- 海軍機關大佐 須田稔
- 海軍大佐 畑啓義
- 海軍司法事務官 諸澤安治
- 海軍少將 白根貞介
- 海軍少將 和田專三
- 海軍少將 片桐英吉
- 海軍主計少將 佐々木重藏
- 海軍軍醫少將 伏島忠雄
- 海軍少將 鈴木義一
- 海軍造船中將 山本幹之助
- 海軍中將 米内光政

海軍部内各部御中

友鶴遭難者義捐金募集要領

- 一、本義捐金ハ海軍部内一般ヨリ之ヲ募集ス
- 二、義捐金ノ處理ニ關シテハ本文趣旨ニ據ルノ外其ノ細目ハ發起者ニ御一任被下度
- 三、義捐金ハ各所轄毎ニ取纏メ佐世保海軍經理部淺野主計少佐宛送付セラレ度
- 四、募集締切ハ昭和九年五月末日トス
- 五、遠隔ノ地ニテ期日迄ニ送金困難ナル向ハ電報ニテ先ツ其ノ金額御通知ヲ得度
- 六、義捐金額ハ勝手乍ラ左ノ標準ト致度
 - (イ) 准士官以上、高等文官 俸給月額百五十分ノ一
 - (ロ) 下士官 一〇錢 兵 五錢
 - (ハ) 判任文官、雇員、傭人ハ右ニ準ジ適宜

海軍公報 第二千四百十號

昭和九年四月九日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房第一五四三號

昭和九年四月九日

海軍大臣

横須賀鎮守府司令長官殿

靖國神社臨時大祭ニ參拜隊派遣ノ件訓令

今般靖國神社臨時大祭舉行相成候ニ付來四月二十六日
左記ニ依リ參拜隊派遣方取計フベシ

記

一、參拜隊ノ編制

海軍中佐ノ指揮スル銃隊二箇大隊(一箇大隊ハ三
箇中隊、他ノ一箇大隊ハ二箇中隊編制)トシ

軍樂隊一隊ヲ附ス

二、集合場所及時刻等

當日午前九時十五分迄ニ社庭附近ニ參著掛員ノ指
示ニ依リ參拜終ツテ便宜歸投ス

官房第一五四四號

昭和九年四月九日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

靖國神社臨時大祭ニ代表者參列ノ件訓令

來四月下旬舉行ノ靖國神社臨時大祭ニ際シ合祀者所管
各部代表者トシテ招魂式及大祭第一日ノ儀ニ參列ノ爲
左記ニ依リ部下高等武官一名派遣方取計フベシ

記

追テ代表者ノ官氏名ハ來四月十五日迄ニ報告スベシ

記

一、代表者ハ四月二十五日正午迄ニ海軍省ニ出頭所要
ノ指示ヲ受ケ同二十六日式終了後退京ス

二、代表者ハ成ルベク今次事變ニ直接關與セルモノヨ
リ撰出ス

三、服裝 正裝

海軍公報 第二千四百十號 昭和九年四月九日

三三五

1885 ~~0399~~

四、所要旅費ハ軍事費、雜給及雜費、内國旅費、出張旅費支辨トシ請求ヲ俟テ別途配付ス

○訓令

海軍省出仕海軍大佐 岡 敬 純
海軍省軍務局ニ於テ服務スヘシ(訓海軍大臣)

○辭令

海軍造船少將 藤本 喜久雄
主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(訓海軍艦政本部)
海軍造兵大尉 越野 長次郎
技術部勤務ヲ命ス(訓海軍航空本部)

○雜款

○郵便物閉塞交換廢止 (補) 昭和九年公報九二頁、
軍艦球磨ト門司郵便局間ノ軍艦郵便ハ廢止セラレタリ
(海軍省 副官)

○軍艦春日行動豫定
地名 着

發

横須賀	四月二十日	四月十八日
江田	四月二十一日	四月二十一日
徳山	四月二十五日	四月二十三日
元山	四月二十九日	四月二十七日
舞鶴	五月四日	五月一日
小樽	五月七日	五月六日
大湊	五月十日	五月八日
横須賀	五月十日	五月八日

○郵便物發送先
軍艦春日宛

横須賀	四月十七日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
江田	同 二十一日迄ニ	江田
徳山	同 二十三日迄ニ	徳山
元山	同 二十六日迄ニ	元山
舞鶴	五月一日迄ニ	舞鶴
小樽	同 五日迄ニ	小樽
大湊	同 七日迄ニ	大湊
横須賀	其ノ後ハ	横須賀

○佛國通報艦タニール來航豫定變更 (四月四日)
本欄参照
長崎寄港ヲ取止ム

○出發

歐米各	海軍軍醫中佐 鏑木 喜平	四月	横濱發	日枝丸
國出張		十日		

○移轉
軍令部出仕兼海軍省副官海軍中佐小島秀雄ハ昨八日左
記ニ移轉セリ

記
麴町區霞ヶ關二ノ一官舎(電話銀座 三三七四番)

○改姓
海軍機關中尉佐々木忠雄ハ大田黒ト改姓ノ旨去月三十
一日届出デタリ

○正誤
本月六日通牒欄艦本第三五六五號別表大阪ノ項受持區
域(内區)ノ欄中「川邊郡尼崎市」ハ「川邊郡、尼崎
市」ノ、「滋賀縣彦根町地方」ハ「滋賀縣彦根町地方」
ノ孰モ誤

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○四月九日午前十時調

【横須賀】日進▲山城▲風翔、八雲、北上、伊勢、

大鯨、春日、比叡

横、区天霧、朝霧、夕霧、浦風

掃二、掃四

富士▲、尻矢、青島、洲崎

【長浦】区島風、夕風、汐風、灘風、区潮、曙、朧

呂二〇、呂二一、呂二二、区呂五五、

呂五四、呂五六、区呂五九、呂五七、

呂五八

区掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

【館山】椿

【大湊】区波風、野風、沼風、神風

大泊

【吳】長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、加古、

勝力、白鷺、神通、韓崎、区阿武隈

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

区芙蓉、刈萱、朝顔、区敷波、浦波、綾波、

区東雲、磯波、吹雪、区吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、区呂二七、呂二八、区呂六一、

呂六〇、呂六二、区伊二一、伊二二、
区伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、区掃一三▲

掃一四▲

石廊、攝津、朝日

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】区伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【徳山】知床

【舞鶴】吾妻▲、多摩

区夕顔、葵、菊

呂二六

【佐世保】夕張、加賀▲、足柄、羽黒、鬼怒、常磐

梨、竹、榎、区柳、桃、檜、櫻、区阜月、

文月、水無月、長月、区子日、初春

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

呂二九、呂三〇、呂三二、区呂六五、

呂六六、呂六七、区伊六〇、伊五九、

伊六三

区千鳥、真鶴、友鶴

敷島▲、早鞆、佐多、野島

(若葉)

【寺島水道】区呂六三、呂六四、呂六八

1888 0392

【長崎】 那智、妙高
 【有明灣】 金剛、霧島、扶桑、日向、長良、名取、五十鈴、川内、長鯨、赤城、龍驤、島海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、那珂、由良、迅鯨
 【松風】 春風、旗風、朝風、菊月、望月、三日月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、睦月、卯月、如月、彌生、沖風、峯風、矢風、澤風、電、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、初雪、白雪、白雲、叢雲、薄雲
 【伊三】 伊一、伊二、伊五、伊四、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六
 【馬公】 球磨、鶴見、間宮、鳴戸、神威
 【鎮海】 太刀風、秋風、帆風、羽風
 【釜山】 蓬、麥、蓮
 【大東溝】 淀
 【大沽】 天龍
 【青島】 藤、葛、薄、菘
 【上海】 堅田、保津、伏見
 【南京】 勢多

【九江】 鳥羽
 【漢口】 對馬
 【長沙】 隅田
 【沙市】 宇治
 【宜昌】 安宅
 【重慶】 熱海、二見
 【廣東】 嵯峨
 【演習地】 能登呂
 【作業地】 大和
 【航海中】
 隱戸 (三月二十八日「タラカン」發「徳山」)
 襟裳 (一日「タラカン」發「徳山」)
 比良 (六日宜昌發「南京」)
 龍田、八重山 (七日佐世保發「演習地」)
 出雲、葦、葦、菱、栗、柿、楡、梅 (七日馬公發「上海」)
 淺間、磐手 (八日「ポートセッド」發「スタンブール」)
 駒橋 (九日作業地發「横須賀」)
 大井 (九日吳發「江田内」)
 木曾 (九日横須賀發「館山」)
 嚴島 (九日長浦發「東京灣」)
 伊二三、伊二四 (九日長浦發「館山」)
 膠州 (九日横須賀發「石垣島」)

(部内限一頁、同附録四頁)

1889 ~~0398~~

海軍公報 第二千四百十一號

海軍大臣官房

昭和九年四月十日(火)

○通牒

教育第五號ノ五ノ一

昭和九年四月十日

海軍省教育局

海軍各應御中

圖書實費頒布ノ件通知

一、運用術提要 運用術練習艦編

(軍事教育圖書トシテ既ニ各部ニ配付ノモノ)

當局發行ノ右圖書部内要望ノ向ニ實費ヲ以テ頒布可致候條左記御承知ノ上御申込相成度

記

一、製本體裁 四六判 百二頁 總クロース表紙

二、實費 金六拾錢

三、送料 金六錢

四、申込 各應毎ニ部數取纏メ官氏名ト共ニ當局宛通知ノコト

五、送

金 代金ハ東京市小石川區音羽町二ノ

一四(會社) 双文館(振替) 東京五一九五(番)ニ(前金) 送金ノコト

六、申込締切期日 昭和九年五月十日

七、配本 昭和九年五月十五日

經給第二三號

昭和九年四月十日

海軍省經理局

海軍省人事局

關係各應御中

恩給法ニ依ル國庫納金ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ内閣恩給局ヨリ別紙ノ通牒有之候條御了知相成度

(別紙)

恩發第一七號

昭和九年一月二十七日

内閣恩給局

海軍公報 第二千四百十一號 昭和九年四月十日

三四一

1890

0394

海軍大臣官房御中

昭和八年法律第五十號附則第九條ニ

關スル件

昭和八年法律第五十號附則第九條ニ規定スル「就職」ノ意義及就職ノ月ノ納金率ニ付テハ今般左記ノ通決定致候條此段及通牒候也

記

一、改正法施行前ヨリ在職中ノ公務員ガ改正法施行後（昭和九年四月一日以後）ニ退職シ退職ノ即日又ハ翌日他ノ公務員ニ就職シタル場合（即實質上ノ轉任ノ場合）ニハ附則第九條ノ適用アリトシ其ノ就職ノ月ハ從來ノ規定ニ依ル納金率トシ翌月ヨリ恩給法ノ改正第五十九條ノ新率ニ依リ納金セシムルコト

二、改正法施行後新ニ公務員ニ就職シ又ハ改正法施行前ヨリ在職者ニシテ退職ノ翌々日以後就職ノ者ニハ經過規定タル附則第九條ノ適用ナシト解シ恩給法ノ改正第五十九條ニ依リ當然就職ノ月ヨリ新率ニ依リ納金セシムルコト

追テ改正法施行前ヨリ公務員トシテ在職スル者改正法施行後ニ俸給ガ昇給シ若ハ増額セラレタ

（參照）

○恩給法（昭和八年法律第五十號改正後）

第五十九條 文官ハ毎月其ノ俸給ノ百分ノ二ニ相當ス

ル金額ヲ國庫ニ納付スベシ

下士官以上ノ軍人ハ毎月其ノ俸給ノ百分ノ一ニ相當ス

ル金額ヲ國庫ニ納付スベシ

教育職員ハ毎月其ノ俸給ノ百分ノ二ニ相當スル金額

ヲ國庫ニ納付スベシ但シ朝鮮、臺灣又ハ樺太以外ノ

地ニ於ケル公立ノ小學校、實業補習學校、幼稚園、

盲學校、聾啞學校及小學校ニ類スル各種學校ノ教育

職員ハ其ノ學校又ハ幼稚園ノ所在地ヲ管轄スル府縣

又ハ之ニ準ズベキ地方經濟ニ對シ其ノ俸給（又ハ給

料）ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ納付スベシ

警察監獄職員ハ之ニ俸給ヲ給スル國庫、府縣其ノ他

ノ經濟ニ對シ毎月其ノ俸給（又ハ給料）ノ百分ノ一

ニ相當スル金額ヲ納付スベシ

待遇職員ハ之ニ俸給ヲ給スル國庫、府縣其ノ他ノ經

1891

0995

濟ニ對シ毎月其ノ俸給(又ハ給料)ノ百分ノ二ニ相當スル金額ヲ納付スベシ

○昭和八年法律第五十號(恩給法中改正)附則

第九條 第五十九條ノ改正規定ハ勅令ノ定ムル所ニ依

リ本法施行後就職シ又ハ俸給(又ハ給料)ガ昇給若

ハ増額セラレタル月ノ翌月ヨリ之ヲ適用ス

○昭和八年勅令第二百三十六號(恩給法施行令中改正)

附則

第四條 改正法律附則第九條ニ規定スル場合ニ於テハ

左ノ例ニ依ル

一 轉官職ニ依リ新官職ニ付前俸給ヨリ多額ノ俸給

ヲ給セラルルニ至ルトキハ之ヲ昇給ト看做ス

二 本俸ト之ニ準ズベキモノトヲ併セ受クル場合ニ

於テ其ノ一ニ付昇給又ハ増額アリタルトキハ改

正法律附則第九條ノ規定ニ依リ本俸及之ニ準ズ

ベキモノノ總テニ付同法第五十九條ノ改正規定

ヲ適用ス

三 俸給ノ法令ニ依ル増額アル場合ニ於テ其ノ増額

分ガ恩給法第五十九條ノ規定ノ改正ニ依リ増加

シ又ハ新ニ納付スベキニ至リタル額以上ナルト

キニ限リ俸給ハ増額セラレタルモノトシ之ニ及

バザルトキハ其ノ増額ナカリシモノトシテ取扱

○訓令

海軍省出仕海軍機關少佐 三宅 正彦
海軍省軍務局ニ於テ服務スヘシ(海軍大臣)

○辭令

故海軍少佐市川 榮寡婦
一金五千圓(但死亡者一時賜金) 市川 秋子
右大正二年勅令第九號及大正八年勅令第三百七十一
號ニ依リ之ヲ給與ス(海軍省)
計畫助手 東 相之

○雜款

○左記ニヨリ各報國號飛行機ノ命名式舉行セラル
記
一、飛行機番號名稱其ノ他

1892

0396

報國號	番號	名稱	機種	製造資金獻納者
第三十七號	海軍號	九二式艦上機	海軍部内有志者	
第四十三號	第一南洋號	偵察機	南洋廳サイパン支隊管内住民 サイパン支隊管内國防協 會聯合會ノ名ニテ獻金	
第五十五號	第一日本鋼管號	九〇式艦上機	日本鋼管株式會社	
第五十六號	第二日本鋼管號	同	同	
第六十號	戶畑鑄物號	同	戶畑鑄物株式會社	
第六十一號	明治生命號	九二式艦上機	明治生命保險株式會社	

二、日時(開式時刻)
 四月十四日(土曜)〔當日雨天ノ場合ハ同十五日(日曜)同二十一日(土曜)同二十二日(日曜)ノ順ニ延期〕午後一時三十分

三、場所
 遞信省東京飛行場(東京市蒲田區羽田江戶見町)
 (海軍省副官)

○司令驅逐艦變更
 第一驅逐隊司令ハ昨九日司令驅逐艦ヲ波風ヨリ神風ニ變更セリ

○特務艦青島行動豫定變更(三月三十日)

地名	着	發
橫須賀	四月二十四日	四月二十二日
大須賀	四月二十八日	四月二十五日
名古屋	五月一日	四月三十日
鳥羽	五月三日	四月三十一日
神戶	五月五日	四月三十一日
吳海	五月七日	四月三十一日
鎮海	五月九日	四月三十一日
舞鶴	五月十三日	四月三十一日
吳保	五月十六日	四月三十一日
佐世	五月十八日	四月三十一日
西戶	五月二十日	四月三十一日
橫須賀	五月二十四日	四月三十一日

○郵便物發送先變更(三月三十日)

特務艦青島宛	發送先
同	橫須賀
同	大須賀
同	名古屋
同	神戶
同	吳保
同	鎮海

同	同	同	同	同	同
十三日迄	十七日迄	十九日迄	二十一日迄	共ノ後ハ	
同	同	同	同		
新舞鶴	吳世保	佐世保	西戸崎	横須賀	

○通信
 海軍通信略語改正追加貼付紙第十一號（發受信用共）
 本十日發送終了ニ付未着ノ向ハ御通知ヲ得度
 （海軍省軍務局）

海軍公報 第二千四百一十一號 昭和九年四月十日

三四五

1894 ~~6399~~

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○四月十日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、鳳翔、八雲、北上、伊勢、大鯨、春日、比叡、駒橋、横、□天霧、朝霧、夕霧、浦風、掃二、掃四

【長浦】

富士▲、尻矢、青島、洲崎、呂二〇、呂二一、呂二二、□呂五五、呂五四、呂五六、□掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

【館山】 樺

【大湊】

神風、波風、野風、沼風、大泊

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、加古、勝力、白鷹、神通、韓崎、▷阿武隈、江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、□芙蓉、刈萱、朝顔、□敷波、浦波、綾波、□東雲、磯波、吹雪、□吳竹、若竹、早苗、呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、□呂二七、呂二八、□呂六一、呂六〇、呂六二、□伊二一、伊二二、□伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、□掃一三▲、掃一四▲

石廊、攝津、朝日、(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五) □伊五三、伊五四、伊五五、(伊六九)、(伊六)

【神戸】(掃一六)

【江田内】 大井

【徳山】 隠戸

【舞鶴】 吾妻▲、多摩、□夕顔、葵、菊、呂二六

【佐世保】 夕張、加賀▲、足柄、羽黒、鬼怒、常磐

梨、竹、榧、□柳、桃、檜、櫻、□臯月、文月、水無月、長月、□子日、初春、呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三二、□呂六五、呂六六、呂六七、□伊六〇、伊五九、伊六三

□千鳥、真鶴、友鶴

敷島▲、早瀬、佐多、野島

【寺島水道】 □呂六三、呂六四、呂六八

【長崎】 那智▲、妙高▲

海軍公報 第二千四百四十一號 昭和九年四月十日

三四七

1895

0399

【有明灣】□金剛、霧島、▽扶桑、日向、▽長良、名取、五十鈴、▽川内、▽長鯨、▽赤城、龍驤、
 □鳥海、高雄、愛宕、摩耶、▽青葉、衣笠、古鷹、▽那珂、▽由良、迅鯨
 □松風、春風、旗風、朝風、□菊月、望月、三日月、夕月、□疾風、追風、朝風、夕風、
 □陸月、卯月、如月、彌生、□沖風、峯風、矢風、澤風、□電、雷、響、□曉、狹霧、
 漣、□深雪、初雪、白雪、□白雲、叢雲、薄雲
 □伊三、伊一、伊二、□伊五、伊四、伊五六、伊五七、伊五八、□伊六一、伊六二、伊六四、□伊六七、伊六五、伊六六
 鶴見、間宮、鳴戸、神威
 【馬公】球磨
 □太刀風、秋風、帆風、羽風
 【鎮海】□蓬、蓼、蓮
 【大東溝】淀
 【青島】□藤、葛、薄、萩
 【上海】□堅田、保津、伏見
 【南京】勢多
 【九江】鳥羽
 【漢口】對馬
 【長沙】岡田

【沙市】宇治
 【宜昌】安宅
 【重慶】△熱海、二見
 【廣東】嵯峨
 【演習地】能登呂
 【作業地】大和
 【航海中】襟裳 (一日「タラカン」發—德山へ)
 比良 (六日宜昌發—南京へ)
 □龍田、八重山 (七日佐世保發—演習地へ)
 □出雲、□葦、葦、菱、□栗、柿、榆、梅 (七日馬公發—上海へ)
 □淺間、磐手 (八日「ポルトセツド」發—「スタンプ」ルへ)
 □天龍 (九日大沽浦發—旅順へ)
 □木曾 (九日横須賀發—館山へ)
 □嚴島 (九日長浦發—東京灣へ)
 □島風、夕風、沙風、灘風 (九日長浦發—東京灣外へ)
 □潮、曙、朧、□呂五九、呂五七、呂五八、□伊二三、伊二四 (九日長浦發—館山へ)
 膠州 (九日横須賀發—石垣島へ)
 知床 (九日德山發—横須賀へ)
 室戸 (九日釜山發—旅順へ)

(部内限三頁)

1896 0408

海軍公報

第二千四百四十二號

昭和九年四月十一日(水)

海軍大臣官房

○ 辭令

海軍主計中佐 居倉 直記

臨時資金前渡官吏ヲ免ス(海軍省經理局支出官)

海軍大佐 井上 保雄

海軍豫備油田試掘ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(同)

研究助手 鬼頭 史城

(各通)

同 佐羽内 磐夫

同 眞野 惣次郎

同 山口 健

部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(海軍艦政本部)

海軍公報 第二千四百四十二號 昭和九年四月十一日

三四九

1897 679

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○四月十一日午前十時調

【横須賀】日進、山城、鳳翔、八雲、北上、伊勢、

大鯨、春日、比叡、駒橋

檣、天霧、朝霧、夕霧、浦風

掃二、掃四

富士、尻矢、青島、洲崎、大和

【長浦】島風

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、

呂五四、呂五六

掃一

【浦賀】(初霜)

【館山】椿

【大湊】神風、波風、野風、沼風

【吳】大泊

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、加古、

勝力、白鷹、神通、韓崎、阿武隈

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、

東雲、磯波、吹雪、吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二七、呂二八、呂六一、

呂六〇、呂六二、伊二二、伊二二、

伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、

掃一四

石廊、攝津、朝日

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【江田内】大井

【徳山】隠戸

【細島】峯風

【舞鶴】吾妻、多摩

【佐世保】夕顔、葵、菊

呂二六

夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、龍田、

八重山

梨、竹、樞、柳、桃、檜、檜、臯月、

文月、水無月、長月、子日、初春

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、

呂六六、呂六七、呂六三、呂六四、

呂六八、伊六〇、伊五九、伊六三

千島、真鶴、友鶴

敷島、早鞆、佐多、野島、能登呂

(若葉)

- 【唐津】常磐
- 【長崎】那智▲、妙高▲
- 【有明灣】金剛、霧島、扶桑、日向、長良、名取、五十鈴、川内、長鯨、赤城、龍驤、鳥海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、那珂、由良、迅鯨
- 松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、三月月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、陸月、卯月、如月、彌生、沖風、矢風、澤風、電、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、初雪、白雪、叢雲、薄雲
- 伊三、伊一、伊二、伊五、伊四、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六
- 鶴見、間宮、鳴戸、神威
- 【馬公】球磨
- 太刀風、秋風、帆風、羽風
- 【鎮海】蓬、蓮
- 【旅順】天龍
- 青島、藤、葛、薄、萩
- 上海、出雲、壘田、保津、伏見
- 蕞、葦、菱、栗、柿、榆、梅
- 【南京】勢多

九江 鳥羽

- 漢口 對馬
- 長沙 隅田
- 沙市 宇治
- 宜昌 安宅
- 重慶 熱海、二見
- 廣東 嵯峨
- 【航海中】
- 襟裳 (一日「タラカン」發—徳山へ)
- 比良 (六日宜昌發—南京へ)
- 淺間、磐手 (八日「ボートセッド」發—「スタンブール」へ)
- 木曾 (九日横須賀發—館山へ)
- 嚴島 (九日長浦發—東京灣へ)
- 夕風、沙風、灘風 (九日長浦發—東京灣外へ)
- 潮、曙、朧、呂五九、呂五七、呂五八、伊二三、伊二四 (九日長浦發—館山へ)
- 膠州 (九日横須賀發—石垣島へ)
- 知床 (九日徳山發—横須賀へ)
- 室戸 (九日釜山發—旅順へ)
- 淀 (十日大東溝發—旅順へ)
- 掃六、掃三、掃五 (十日長浦發—東京灣へ)

(部内限二頁)

1899 4103

海軍公報 第二千四百四十三號

昭和九年四月十二日(木)
海軍大臣官房

○通牒

艦本第一〇三五號ノ五
昭和九年四月十二日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿

昭和九年度海軍共濟組合健康保險診療

契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ日本醫師會ト左記ノ通契約ヲ締結セリ

記

契約書

健康保險法ニ基ク海軍共濟組合員ノ診療(齒科診療ヲ除ク)ニ關シ昭和七年三月三十一日附ヲ以テ海軍共濟組合ト日本醫師會トノ間ニ締結シタル契約ハ昭和九年四月一日ヨリ昭和十年三月三十一日迄其ノ効力ヲ有スルモノトス

右契約ノ確實ヲ證スル爲本書二通ヲ作成シ双方連名調

印ノ上各自一通ヲ所持スルモノナリ

昭和九年三月三十一日

海軍共濟組合事務掌理官

海軍艦政本部長 杉 政人

日本醫師會長 北島 多一

○雜款

○驅逐艦潮行動豫定

地名 着

横須賀 四月二十七日

釜石 四月二十九日

久慈 五月一日

厚岸 五月五日

鰐ヶ澤 五月七日

室蘭 五月十一日

横須賀 十一月

發

四月二十六日

二十九日

三十日

五月四日

七日

九日

○驅逐艦階行動豫定

地名 着

發

海軍公報 第二千四百四十三號 昭和九年四月十二日

三五三

1900

0404

横須賀	四月二十九日	四月二十六日
大泊	五月二日	五月二日
雅内	四月四日	四月四日
留萌	四月六日	四月六日
小樽	四月六日	四月六日
横須賀	四月十一日	四月八日

○郵便物發送先

驅逐艦潮宛

四月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
同二十九日迄ニ同	久慈
五月三日迄ニ同	厚岸
同六日迄ニ同	鰻澤
同八日迄ニ同	室蘭
其ノ後ハ	横須賀

驅逐艦曙宛

四月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
五月三日迄ニ同	雅内
同五日迄ニ同	留萌
同七日迄ニ同	小樽
其ノ後ハ	横須賀

○書類發送先ニ關スル件依頼
當隊潮、曙昭和九年度艦上簡閱點呼ノ爲北海道及樺太方面ニ分離行動中當隊司令宛書類ニシテ各艦ニ配付ヲ

要スト認メラルルモノハ寫ヲ各艦宛御送付ノコトニ御取計ヲ得度

(第七驅逐隊)

1901 0495

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○四月十二日午前十時調

【横須賀】日進、山城、鳳翔、八雲、北上、伊勢、

大鯨、春日、比叡、駒橋

【天霧】朝霧、夕霧、浦風

掃二、掃四

富士、尻矢、青島、洲崎、大和、知床

【長浦】夕風

呂五五、呂五四、呂五六、呂五九、

呂五七、呂五八、伊二三、伊二四

伊掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

【館山】棒

【大湊】神風、波風、野風、沼風

大泊

【吳】長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、加古、

勝力、白鷹、神通、韓崎、阿武隈

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、

東雲、磯波、吹雪、吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二七、呂二八、呂六一、

呂六〇、呂六一、伊二二、伊二二、

伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、

掃一四

石廊、攝津、朝日

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【江田内】大井

【舞鶴】吾妻、多摩

伊夕顔、葵、菊

呂二六

【佐世保】夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、龍田、

八重山、常磐

梨、竹、樞、柳、桃、檜、檜、臯月、

文月、水無月、長月、子日、初春

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、

呂六六、呂六七、呂六三、呂六四、

呂六八、伊六〇、伊五九、伊六三

千鳥、真鶴、友鶴

敷島、早瀬、佐多、野島、能登呂

(若葉)

【長崎】那智、妙高

【有明灣】□金剛、霧島、▽扶桑、日向、▽長良、名取、五十鈴、▽川内、▽長鯨、▽赤城、龍驤、
 □鳥海、高雄、愛宕、摩耶、▽青葉、衣笠、古鷹、▽那珂、▽由良、迅鯨
 □松風、春風、旗風、朝風、□菊月、望月、三日月、夕月、□疾風、追風、朝風、夕風、陸月、卯月、如月、彌生、□沖風、峯風、矢風、澤風、□電、雷、響、□曉、狹霧、漣、□深雪、初雪、白雪、□白雲、叢雲、薄雲
 □伊三、伊一、伊二、□伊五、伊四、□伊五六、伊五七、伊五八、□伊六一、伊六二、伊六四、□伊六七、伊六五、伊六六
 鶴見、間宮、鳴戸、神威
 球磨
 【馬公】□太刀風、秋風、帆風、羽風
 【鎮海】□蓬、蓼、逆
 【旅順】天龍、淀
 【青島】□藤、葛、薄、萩
 【上海】□出雲、壘田、保津、伏見
 □董、章、菱、□栗、柿、楡、梅
 【南京】勢多
 【九江】鳥羽
 【漢口】對馬

【長沙】 陽田
 【沙市】 宇治
 【宜昌】 安宅
 【重慶】 ▽熱海、二見
 【廣東】 嶺巖
 【航海中】
 襟裳 (一日「タラカン」發—徳山へ)
 比良 (六日宜昌發—南京へ)
 ▽淺間、磐手 (八日「ポートセツド」發—「スタンプ」
 ール)へ)
 ▽木曾 (九日横須賀發—館山へ)
 巖島 (九日長浦發—東京灣へ)
 沙風、灘風 (九日長浦發—東京灣外へ)
 □湖、曙、朧 (九日長浦發—館山へ)
 膠州 (九日横須賀發—石垣島へ)
 室戸 (九日釜山發—旅順へ)
 □島風 (十一日長浦發—館山へ)
 隠戸 (十二日徳山發—吳へ)

(部内限三頁)

1903 8497